

第5回 幸田プレステージレクチャーズ

リチウムイオン電池

現在・過去・未来

リチウムイオン電池は、携帯電話などのIT機器の電源として広く使われてきており、さらに、これからは電気自動車などへの展開が始まっています。このリチウムイオン電池の開発経緯と、これまでの成長経緯を振り返り、これから未来に向けてどのように展開していくかについてご紹介します。

講師



旭化成株式会社
フェロー、吉野研究室 室長
吉野 彰氏(よしの あきら)

講師紹介

吉野氏は、1972年3月に京都大学大学院工学研究科石油化学専攻修士課程を修了後、同年4月に旭化成(株)へ入社され、主として機能性高分子等の研究開発業務に従事されました。1981年から新型二次電池の研究に着手され、1985年にリチウムイオン二次電池の発明に至りました。1992年に(株)東芝との合併会社である(株)エイ・ティー・バッテリーの設立に携わり、リチウムイオン二次電池の事業化に成功されました。

そして、これらの業績に対し国内外において、2004年には「紫綬褒章」、2013年にはエネルギー科学の分野で最も権威のある賞の1つである「グローバルエネルギー賞」(ロシア)、2014年には工学分野のノーベル賞と呼ばれる「チャールズ・スターク・ドレイパー賞」(全米技術アカデミー)など数多くの著名な賞を受賞されておられます。

入場無料

定員400名

どなたでも受講
できます

2014
10 | 17 **金**
全席自由
開場 ● 13:00
開演 ● 13:30

幸田町民会館 つばきホール

- 定員になりしだい締め切らせていただきます。
- 申込方法／町ホームページ・Eメール、FAX、電話のいずれかでお申し込みください。

● 随時申し込みを受け付けています

リチウムイオン電池が世界を変える